

のおくりもの 6

The Gift from Woods

No.357

タテハチョウ科ヒオドシチョウ



この時期の自然観察の森では、様々な蝶や蛾の幼虫を観察出来ます。センター前のエノキの樹には「ヒオドシチョウ」の幼虫（写真左）の姿が・・・

全身をトゲ状の突起で武装しているように見えますが、刺すことはありません。そして、成虫になると右の写真のような美しい蝶になります。

幼虫時代のこの姿は、美しい蝶になる前の仮の姿・・・ではありません。

「ヒオドシチョウ」からすれば、あくまでも生活史の中での形態の変化。私たちが目にしているのは、齢を重ねている過程での一側面にすぎません。

自分たちの知識の範囲外のもの、得体の知れないものを恐れる気持ちは誰も持っています。蝶や蛾の幼虫で言えば、いかにも刺しそう、毒を持っていそうに見える外見とは裏腹に、人間にとっては害のないものが多いです。

森の中には不思議な事、分からないことが沢山あります。皆様が感じる疑問や不安に出来るだけ応えていけたらと思います。 【写真・文 近藤晋也】

※ドクガ類のように幼虫や成虫時期に毒針毛を持つ種もいますので、分からないものには触れないように！

森のことは

自然の様子やできごとを四字熟語やことわざなどに当てはめ、森で感じた言葉をお届けします

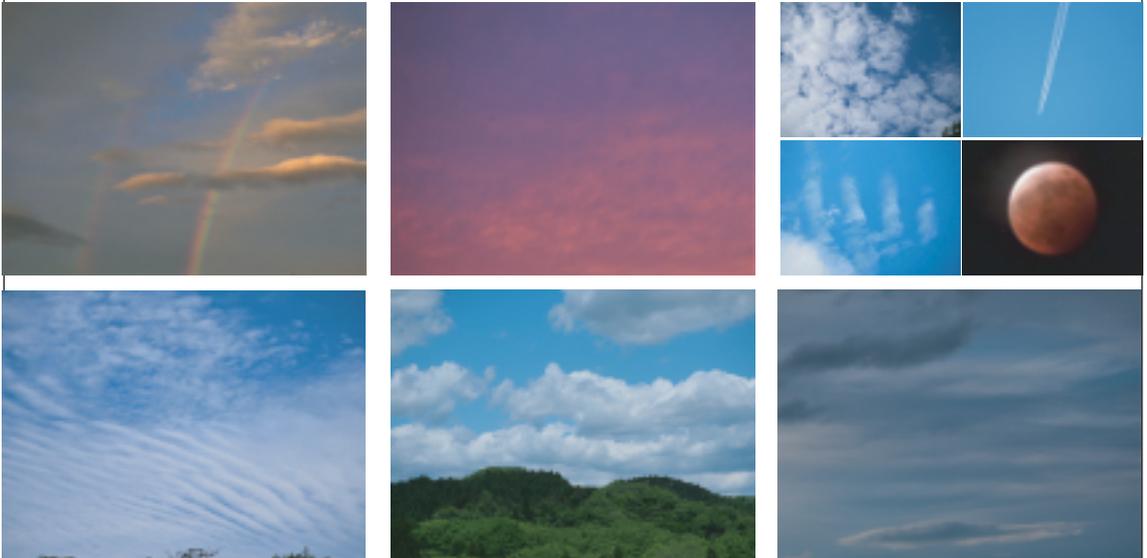
『Every cloud has a silver lining (どの雲にも銀の裏地が付いている)』

どこでも見られる最も身近な自然に空があります。先月、スーパームーンの皆既月食が話題となり、夜空に注目が集まりましたが、普段は身近過ぎてじっくり空を見ていないかもしれません。雲一つない青空も美しいですが、雲の様々な形や変化していく様子は見ていて飽きません。雲にはできる高さや形などによって10種に分けられ、更に細分化した分類があります。種類ごとの写真を見てから意識して雲を眺めると、その違いに気づいておもしろいです。最近朝ドラでも話題となり、興味を持った方も多いのではないのでしょうか。

「Every cloud has a silver lining」という雲に関する英語のことわざがありました。直訳は「どの雲にも銀の裏地が付いている」で、どんな暗雲でもその反対側は太陽に明るく照らされて銀色に輝いているということから、「悪いことの反面にはいいことがある。」という言葉です。転じて「どんな悲観的な状況にあっても、その裏は輝いているのだから、いつかは光が差し込んでくる。どんなに悪い状況であっても、必ず希望がある」という意味もあります。以前、羽生結弦選手がこのロゴが書いてあるTシャツを着ていたそうです。

この言葉に、新型コロナウイルスの影響で、晴れ晴れとしない世の中ですが、そのうちきっと転機が訪れるよという希望を感じました。

これから梅雨がやって来ます。空一面雨雲に覆われてしまうと何も見えませんが、雨上がりには虹を見るチャンスがあります。気をつけて空を見上げれば、幸運が訪れる彩雲に出会えるかもしれませんよ。 【レンジャー：新田隆一】



6月の生物ごよみ

植物

	5月		6月	7月	
	下旬	月上旬	中旬	下旬	月上旬
マルバダケブキ (マルバダケブキ)	[Active Period]				
サイハイラン (サイハイラン)	[Active Period]				
ギンリョウソウ (ギンリョウソウ)	[Active Period]				
ネジキ (ネジキ)	[Active Period]				
イチヤクソウ (イチヤクソウ)	[Active Period]				
オカトラノオ (オカトラノオ)	[Active Period]				

昨年、ヨシの湿地で採集したシュレーゲルアオガエルは冬眠を終え、5月から自然観察センターで展示しています。冬眠開始の時は11匹いたのですが最終的に目覚めたのは5匹でした。カエルの飼育はエサの確保が大変で、芋虫やハエなど生きている虫しか食べません。なので毎日巡回しながらエサになる昆虫を一生懸命採取しています。現在、大きいもので3.5cmぐらいまで成長しました。うまく飼えば10年近くは生きるので大切に飼育したいと思います。元気な姿を是非見に来てくださいね。また今、ヨシの湿地では卵から孵ったシュレーゲルアオガエルのオタマジャクシがみられるのでぜひ観察しに来てくださいね。

動物

	5月		6月	7月	
	下旬	月上旬	中旬	下旬	月上旬
サンコウチョウがさえずる (5月7日にさえずりを確認)	[Active Period]			[Active Period]	
カブトムシが現れる (カブトムシ)	[Active Period]			[Active Period]	
ゲンジボタルが夜空を舞う (ゲンジボタル)	[Active Period]			[Active Period]	
ニイニゼミが鳴き始める (ニイニゼミ) (昨年の初鳴きは6月27日でした)	[Active Period]			[Active Period]	

【レンジャー：齋 正宏】

※さえずり 繁殖期や縄張り宣言の時に出す鳥の美しい鳴き声。ただしさえずりと地鳴きの明確な区別はなく、一般的に複雑で長い鳴き声を「さえずり」と呼んでいる。

森の「あれこれ」

「南から来た黒い蝶」



5月中旬から咲きはじめたマルバダケブキは下旬にはほぼ満開をむかえ、黄色いお花畑はいろいろな昆虫が訪れる絶好の観察ポイントになっています。そこで、ひときわ目を引くのがモンキアゲハです（上記写真）。

“チョウって見分けがつかない”とよく言われます。確かにクロアゲハやカラスアゲハなど、黒いアゲハの仲間は慣れないと見分けにくくて、実は私も毎回悩んでます（笑）が、モンキアゲハは他の黒いアゲハよりもひとまわり大きく、何より後翅中央の黄白色の紋が遠目からも目立つのでわかりやすいのです。もう一度上の写真をごらん下さい。紋は表でも裏でも確認できます。

もともとは南方系のチョウで東南アジアを中心に熱帯、亜熱帯など広く分布しています。日本での分布は、2004年発行の昆虫図鑑では関東以南とありますが、2012年発行の別の図鑑では宮城県まで分布とあり、分布域が北へ広がっているのが読み取れます。かつては発見されると新聞やテレビで取り上げられるほど珍しい種でしたが、今では毎年観察の森で見られるようになりました。

トレードマークの“真ん中の白っぽい紋”で、この大きなチョウを探してみてもいいでしょうか。季節が移ってマルバダケブキが終わっても、アザミの仲間やキツネノカミソリ、ヒガンバナなど別の花で、出会うチャンスはあるかもしれません。

【レンジャー：木田秀幸】

森は糸



森は布

森は様々な生き物が互いにつながって
森として生きているんですね (*_*)

タケノコのようなものが落ち葉を貫いて伸び、やがてとがった先端から緑色のものがいっぱい出てきました。緑の部分はぱあっと開いて左右に広がりました。何日かすると茎のてっぺんから鎌首を持ち上げたヘビの頭のようなものが出てきました。茎の模様はまだらでマムシの模様そっくり。マムシグサだったんですね。テンナンショウ属の植物で、水芭蕉もその仲間です。 (^_^)



マムシグサの花は、鎌首のような葉（仏炎苞）の中にあります。切り開いて中を見てみました。Aが付属体でBがその柄です。Cの部分にがくや花弁のない雄花が集まっています。この株は雄株だとわかりました。Dの部分は狭い隙間になっていてEのように外につながっています。雄花はキノコバエを誘う匂いを出しCまで導き受粉させます。キノコバエはEの隙間からしか外に出られません。外に出たキノコバエはやがてマムシグサの雌株に誘われて同じ様なつくりの仏炎苞にある雌花に導かれます。雌花には外に出られる隙間はなく、もがいているうちに受粉がなされます。雌花を調べると、ここで一生を終えたキノコバエの姿が！雌花恐るべし！！ (^_^) 【レンジャー：菅原幸彦】



6月のイベント & お知らせ



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベント受付時に同意書の記入をお願いしております。また、対人距離を保てない場合などで会話をする際には、マスクの着用にご協力くださいますようお願い致します。

イベント

◆おはよう野鳥かんさつ

雑木林を歩きながら野鳥を観察します。

【日 時】6月12日(土) 午前6時半～8時 【定 員】15名

【持ち物】歩きやすい服装と靴、観察用具(双眼鏡貸出あり)

【申込み】6月6日(日)9時より電話受付



◆夜の森の観察会

ホタルやセミの羽化など夜間の生物や自然現象を観察します。

【日 時】6月26日(土) 午後7時～8時半

【対 象】小学生以上 【定 員】15名

【申込み】往復はがきに住所、氏名、年令、電話番号を記入の上、6/15まで必着



ガイドウォーク

毎週日曜日開催
申込み不要、どなたでも参加できます

開催日:6日,13日,20日,27日
時 間:①10:00～11:30 ②13:30～15:00

休館日

7日,14日,21日,28日
※毎週月曜日休館、月曜日が祝祭日の場合はその翌日

太白山自然観察の森ブログ

森のようすやイベント情報などをお届けします

<http://blog.livedoor.jp/skrk2-sizenkansatu/>



自然観察の森の最新情報、
「森のおくりもの」バックナンバーはWebで!



「杜のひろば」URL
<http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>

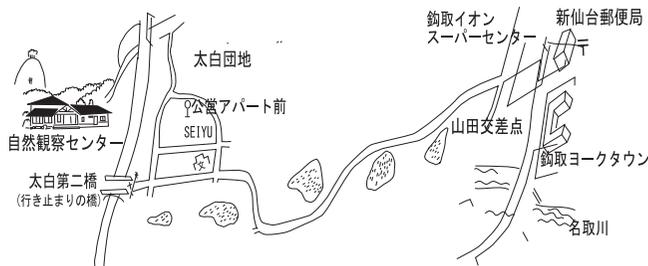
観察の森へのアクセス

宮城交通バスの場合

- ① 仙台駅 乗車時間 約40分
 - ② 長町駅東口 乗車時間 約30分
 - ③ 八木山動物公園駅 乗車時間 約10分
- 【行先】①②③「太白団地經由山田自由ヶ丘車庫行」乗車
※③のみ「太白団地、山田自由ヶ丘經由山田自由ヶ丘南ニュータウン行」
いずれも 公営アパート前 下車→徒歩15分

お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。
駐車場から徒歩5分でセンター



〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63
Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

発行: (公財)仙台市公園緑地協会
編集: 仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター